



©K.Hayashi

ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2019

中 2019/1/6 (日)
19:00開演
(18:15開場)

音楽の都ウィーンの名門オーケストラ 優雅な響きが新年を彩る

【音楽芸術監督・コンサートマスター】 ウド・ツヴェルファー、ウィーン・サロン・オーケストラ 【ピアノ】 久元祐子

華やかなウィナー・ワルツやオペレッタなど、本場ウィーンのニューイヤー・コンサートの雰囲気伝えて新年の幕開けを飾る「ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2019」。ピアノの久元祐子さんから、公演に向けてメッセージが届きました。

出演者からのメッセージ ピアノ 久元祐子さん

ウィーン・サロン・オーケストラとは、これまで、ウィーンや東京などで共演を重ねてきました。メンバー一人一人が、音楽を奏でる喜びを原点到演奏しており、ウィーンの香り、音色を伝えてくれるオーケストラです。ヨハン・シュトラウスがヴァイオリンを演奏しながら指揮をしていたスタイルを継承して、指揮者なしで演奏するため、互いに息を感じ合い、音を聴き合う中で一つの

響きが作られていきます。

「戴冠式」では一年の幕開けに相応しい、輝かしく祝祭的な雰囲気を楽しんでいただければと思っています。第2楽章冒頭の自筆譜には左手の伴奏が書かれていません。ピアノの名手であったモーツァルトが即興で演奏したと思われませんが、今回のステージでも私なりの即興を加えて演奏したいと考えています。

また今回は、神戸文化ホールに新しく入ったウィーン生まれの名器、ベーゼンドルファー model.280VCを弾かせていただきます。楽器ができるまでにおよそ100年という歳月を要するベーゼンドルファー。その温かで深みのあるウィーンナートーンと音楽の伝統を、ウィーン・サロン・オーケストラとの共演で是非お楽しみいただきたいと思っています。

プログラム

W.A.モーツァルト
ピアノ協奏曲第26番二長調KV537「戴冠式」
J.シュトラウスII
オペレッタ「こうもり」より
ワルツ「美しき青きドナウ」
皇帝円舞曲 ほか

※曲目・曲順が変更される可能性があります。予めご了承ください。

料金
全席指定
税込

SS席 10,000円
S席 7,000円
A席 5,000円

チケット発売所 神戸文化 ぴあ 117-778 53931 CN e 国際



好評発売中

プロフィール

ウィーン・サロン・オーケストラ

1994年、ウド・ツヴェルファーのもとウィーン・フォルクスオーパー交響楽団のメンバーにより結成。レパートリーはシュトラウス一家、ランナー、クライスラー、カールマン、レハール、シュトルツなどのワルツ、ポルカやマーチ、J.シュトラウスなどの有名オペレッタからのアリアやデュオなど非常に幅広い。ツヴェルファーがヴァイオリンと指揮を弾き振りするJ.シュトラウスながらの伝統のスタイルは幸せいっばいの雰囲気ホールを包み込み、ウィーンにおいて年間300回を超えるコンサートを開催し、抜群の人気を誇っている。



©K.Hayashi

音楽芸術監督・コンサートマスター ウド・ツヴェルファー

ウィーン国立アカデミー及びウィーン市立音楽院に学ぶ。在学中より、多くの著名な芸術家と数多くの演奏活動を行い、ウィーンをはじめとするヨーロッパ各地、アメリカ、アジア各国、日本等で活躍。1980年に、フォルクスオーパー・ウィーン所属のオーケストラ奏者で構成された「ウィーン・サロン・オーケストラ」を設立。初代音楽芸術監督に就任、同時にコンサートマスターとしてオーストリア国内外にて5000公演以上のコンサートを成功させている。



©酒寄克夫

ピアノ 久元祐子

東京藝術大学を経て同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、読売日本交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラと共演。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。歴史的楽器を所蔵し、演奏会や録音にも数多く取り組む。CD「優雅なるモーツァルト」(レコード芸術特選盤)ほか13作をリリース。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)など。日本人で唯一のベーゼンドルファー・アーティスト、国立音楽大学教授。